

各位

加古川市平岡町新在家 1389 番地
株式会社 大真空
コード番号 6962**徳島事業所フォトリソ工程のクリーンルーム増床に伴う量産開始のお知らせ**

株式会社大真空（社長：飯塚 実）は水晶ウエハのフォトリソ加工※1 を用いた製品の増加に伴い、徳島事業所においてフォトリソ工程用のクリーンルームを増床し、6月から量産を開始いたしますのでお知らせいたします。

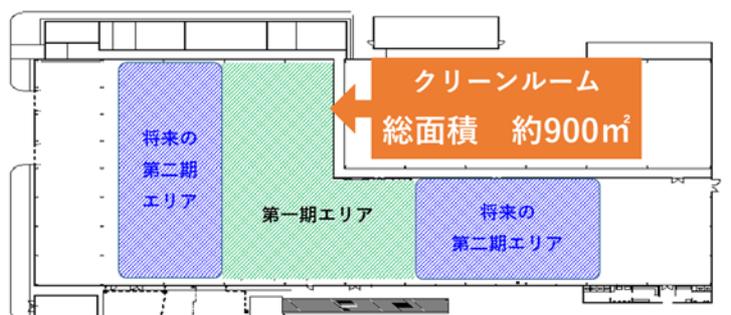
5G/IoT の普及に伴い、データ通信の高速化や大容量化が進展しています。このような状況の中、高周波/高精度/高安定のタイミングデバイスの重要性はさらに高まっており、これらを得意とする水晶デバイス市場は今後もさらなる拡大が見込まれています。最終製品の高機能/多機能化に伴う高密度実装化のニーズが高まる中、水晶デバイスには小型化も同時に求められており、当社では 1008 サイズの Arkh.3G シリーズ※2 をはじめ、小型製品も多数ラインアップしています。これら小型製品で高周波/高精度/高安定を実現するためには水晶片のフォトリソ加工が必要不可欠であり、これまでは鳥取事業所においてフォトリソ加工を行っておりましたが、増加が見込まれるフォトリソタイプ製品群への対応に加え、BCP（事業継続計画）の観点からも、徳島事業所にフォトリソ工程用のクリーンルームを増床いたしました。

本クリーンルームへは 4inch ウエハに対応した設備を導入することで、3inch ウエハと比較すると水晶片の生産量は約 1.7 倍になる試算です。また、当社がコアテクノロジーと位置付ける「ウエハの大判化」を見据え、同設備は 6inch ウエハにも対応可能な仕様となっています（6inch ウエハの取れ数は 4inch ウエハの約 2 倍）。

これは 10 年長期経営計画「OCEAN+2 戦略」※3 の達成に向けた取り組みの一環であり、今回の量産開始により、当社におけるフォトリソタイプ水晶片の生産量は鳥取事業所と合わせて従来の約 2 倍となる見込みです。第二期のクリーンルーム拡張も視野に入れ、今後も量産設備を導入することでマーケットの拡大に対応してまいります。

<内容>

- ・設置場所：徳島事業所
- ・設置面積：約 900m²
- ・稼働開始時期：2022 年 6 月



[用語の説明]

「フォトリソ加工（※1）」:

フォトリソグラフィ技術とエッチング技術を用いて水晶ウエハから水晶片を加工すること。機械加工に比べ微細な加工が可能であり、水晶デバイスの小型化や高周波化には欠かせない。

「Arkh.3G シリーズ（※2）」:

従来製品で使用されたセラミックパッケージや導電性接着剤を使用せず、当社が独自に開発した接合技術である Fine Seal 技術により、水晶を母体とする 3 層のウエハを貼り合わせる WLP（ウエハレベルパッケージ）を採用した新しい構造の水晶デバイス。加えて、WLP を採用することで製造装置の設置面積を削減でき、フロア面積当たりの生産性は従来品に比べ約 2 倍となるため、光熱費などエネルギー使用量の低減が可能。また、小型化・薄型化は梱包材料の削減や輸送にかかるエネルギーの削減に繋がっており、さまざまな側面から環境に配慮した製品。

「OCEAN+2 戦略(※3)」:

当社が 60 周年を迎えた 2019 年 11 月を機に策定した 10 年長期経営計画。